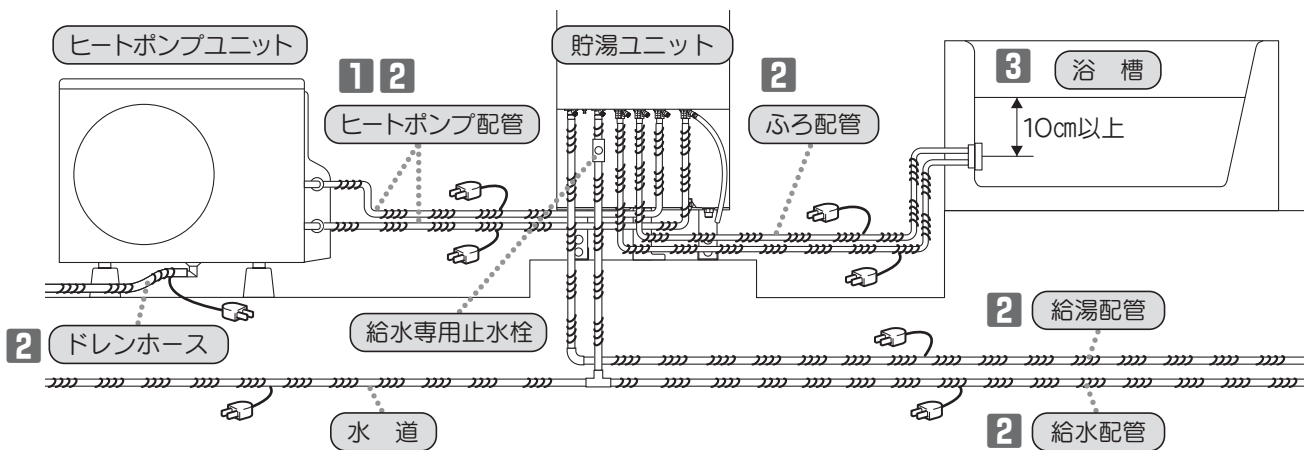


冬期の凍結予防について

- 冬期は暖かい地域でも、配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。お買い上げの販売店または工事店へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

⚠️ 注意

- 凍結のおそれがあるときは、電源を切らない
配管が凍結し、水漏れの原因になることがあります。
- 配管の保温工事、不凍結水栓、凍結防止ヒータなど凍結防止対策を確認する
正しく工事されていないと配管が破損して水漏れややけどの原因になることがあります。販売店（工事店）にご確認ください。



ヒートポンプ配管の凍結予防

1 電源を入れたままにしておく。

- 外気温が約3℃以下になると、自動でヒートポンプ配管に水を循環させます。また、外気温がさらに低いときには、ヒートポンプユニットが運転する場合があります。

凍結防止ヒータを使う

2 凍結防止ヒータを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差し込む。

- 凍結防止ヒータを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- 配管が凍結した場合は、給水専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店または工事店へご連絡ください。

ふろ配管の凍結予防（おふろの残り湯循環）

3 入浴後、お風呂のお湯を排水せず残しておく。

- 循環ポンプが凍結するおそれのある気温になると、循環ポンプが自動的に運転して凍結を予防します。凍結のおそれがあるときは、お風呂に浴槽循環口中心より10cm以上水を残して、循環ポンプが空運転しないよう注意してください。
- 凍結するおそれのある地域では、凍結防止ヒータで凍結予防もおこなってください。

この方法は、循環ポンプの凍結は予防しますが、ふろ配管の凍結は防げませんので、ふろ配管は必ず保温材を巻くなどして凍結予防の処置をしてください。また、貯湯ユニットや浴槽循環口との接続部についても、凍結のおそれがありますので必ず保温してください。